

## 「都市づくりのグランドデザイン(素案)」における 意見・アイデアの募集結果について <第6章>

※意見・アイデアに記載されているページ番号は素案のものです。

番号	意見・アイデア
1	<p>第6章全体について</p> <p>すべての地域について記述を試みた結果、現状の記述に留まっている箇所も多く、本章の必要性に疑義があります。ロンドン市”2020 vision”に見られる”opportunity area”のように、重点的に取り組む地域についてのみ記述されるなど、メリハリを持って取捨選択されてはいかがでしょうか。</p>
2	<p>「個別の拠点や地域の将来像」の記載内容は、あまり新しい感じがしませんでした（感想）。無くて良い気もしますが、諸事情あることも理解します。</p>
3	<p>すべての街について将来像を示す必要はない。現状がそのまま維持されているだけの文言が多く見られ、かえって変化がわかりづらくなっている。</p> <p>機会をとらえ、現状からの大きな変化が見込める都市に焦点を絞って記述した方が伝わりやすいのではないかと（例：ロンドンのアジェンダではOpportunity areaのみビジョンを示している）。</p>
4	<p>地域の将来像における言葉づかいについて、オフィスビル、商業施設などの施設名、業務・商業などの機能が混在しています。一定のルールがあるのかと存じますが、今後、地域の将来像の詳細を検討されるなかで、表現のご確認をお願いします。</p>
5	<p>大手町・丸の内・有楽町</p> <p>中核的な拠点については、官民が連携して開発や土地利用転換などを進めていく（P.23）ことを踏まえ、中心的なエリアについては下記を追加するべきと考えます。</p> <p>例：「官民が連携し、中心部に相応しい質の高い緑の空間づくりを推進します。また、それを維持するためのエリアマネジメント活動について支援します。」</p>
6	<p>日本橋・八重洲・京橋にも、「建築物とインフラの耐震化、自立分散型エネルギー確保等が進み、発災時でも事業継続できる強靱な拠点<sup>じん</sup>が形成されている」旨を記載すべき。</p>
7	<p>赤坂・六本木・虎ノ門</p> <p>中核的な拠点については、官民が連携して開発や土地利用転換などを進めていく（P.23）ことを踏まえ、中心的なエリアについては下記を追加するべきと考えます。</p> <p>例：「官民が連携し、中心部に相応しい質の高い緑の空間づくりを推進します。また、それを維持するためのエリアマネジメント活動について支援します。」</p>

番号	意見・アイデア
8	<p>「赤坂・六本木・虎ノ門」について 地域の将来像については、今後詳細の検討が進められるかと存じますが、以下の点について、ご検討いただきたい。</p> <p>虎ノ門から新橋にかけては、同じような地域特性のエリアが続いているように考えます。「赤坂・六本木・虎ノ門」地域に、「新橋」を加えることをご検討いただきたい。</p> <p>または、現在「新橋・汐留」に記載されている「起業家やスタートアップ、ベンチャー企業が集まり、イノベーションが生まれ続ける」ですが、「赤坂・六本木・虎ノ門」でも同じような取組が行われており、こちらにも記載することをご検討いただきたい。</p>
9	<p>「赤坂・六本木・虎ノ門」について 開発が連担し、都市機能が充実・連携が進んでいることが当地域の特徴だと考えます。記載をご検討いただきたい。</p> <p>例：国際色豊かな業務、商業・エンターテインメント、文化、宿泊、MICE施設、居住、教育等の多様な機能が、連担する開発によって高度に集積し・・・</p>
10	<p>「赤坂・六本木・虎ノ門」について エリアマネジメントの取組みについて記載いただきたい。</p> <p>例：・・・歩行者空間がネットワーク化され、エリアマネジメントによる地域の魅力向上に取組み、外国人が安心してビジネス・観光に安心して訪れることができる、回遊性の高いエリアが形成されています。</p>
11	<p>「赤坂・六本木・虎ノ門」について 自立分散型エネルギーの確保について記載いただきたい。</p>
12	<p>「赤坂・六本木・虎ノ門」について 臨海部と内陸部の交通結節であることを記載いただきたい。</p> <p>例：地域の防災性を向上させる自立分散型のエネルギーの確保や緑豊かなゆとりのある空間の創出が進んでいます。駅やバスターミナルなどを中心とした、臨海部と内陸部の交通結節機能の向上が進んでいます。</p>
13	<p>「赤坂・六本木・虎ノ門」について P53に記載の道路上空がまちと一体的に活用される場所として、将来像に記載いただきたい。</p> <p>例：駅周辺の開発に併せ道路上空に歩道状・広場状のデッキが、地下に歩道状・広場状空間が整備され、道路・駅・まちが一体となった都市基盤の充実が図られています。</p>
14	<p>「赤坂・六本木・虎ノ門」について P114に記載の公共空間と公開空地の一体的な活用を実現する場所として、将来像に記載いただきたい。</p> <p>例：新虎通りと沿道（公開空地等）が一体的に活用され、にぎわいや交流を生み出す地域となっています。</p>

番号	意見・アイデア
15	<p>新宿</p> <p>「多層的な歩行者空間の整備等により」を「歩行者中心の空間整備により」に修正。</p> <p>新宿駅前の地上部について、行政の意向は車両の進入を抑え、歩行者中心の空間とすることで、多くの人で賑わう場所にしていきたい、と伺っております。そのような方針を実現するのであれば、分散化につながる「多層的な」歩行者空間とは相容れなくなると考えます。</p>
16	<p>新宿</p> <p>P123 大手町・丸の内・有楽町に「建築物とインフラの耐震化、自立分散型エネルギー確保等が進み、発災時でも事業継続できる強靱なビジネス拠点<small>じん</small>が形成されています」と記載があります。</p> <p>新宿エリアにおいても、新宿駅周辺まちづくりガイドライン（平成28年3月）の戦略7に「事業継続活動に寄与する自立分散型エネルギーシステムの構築（自家発電設備やコージェネレーション設備の充実等）」と記載がされ、事業継続性の高いエネルギー基盤の形成を将来のまちづくり戦略の中で位置付けておりますので、新宿エリアにも大丸有エリアと同様の記載をしてはいかがでしょうか。</p>
17	<p>新宿</p> <p>西新宿地区では、「生活産業創発都心」を掲げ、賑わい・交流だけではなく、新たなライフスタイル・ワークスタイルを提案する産業の創発と世界への発信を行うことを地区の取組み目標としています。また、その取組みを下支えするエリアマネジメントや、建物周辺の公共空間・低層部の利活用について、言及をしていただきたく思います。</p>

番号	意見・アイデア
18	<p>後楽二丁目地区は、従前は木造住宅が狭隘道路に面して密集している地区でしたが、平成 17 年に『後楽二丁目西地区第一種市街地再開発事業』として事業認可を受け、周辺の基盤整備や広場空間や緑化空間の創出とともに土地の高度利用を実現し、事務所と共同住宅、店舗による複合建物として平成 22 年 4 月に竣工しました。</p> <p>これにより、街の不燃化・耐震化に寄与し、安全な街となるとともに、就業人口及び居住人口が増加し、かつ、生活支援施設としてのスーパーの入居や保育園の入居などにより様々な人の交流が生まれ、開発前に比べ、街が活性化しています。</p> <p>後楽二丁目地区では、これまで文京区後楽二丁目全域のまちづくりについて地元文京区とともに一体的に検討を進めてきており、地区内の再開発事業の検討も進んでいます。後楽二丁目地区は JR 及び地下鉄 4 路線が乗り入れる飯田橋駅と歩道橋で結ばれた駅隣接地区であり都内でも交通利便性の非常に高い地区となっており、25 号線の開通により道路網としての整備も進み、土地ポテンシャルが高まっている地区です。</p> <p>こうした中、当該後楽エリアにおいては再開発事業を行うことで、飯田橋歩道橋機能の強化や、バリアフリー化などの駅機能の改善、さらなる業務商業機能の集積により、地区ポテンシャルを生かした、飯田橋・神楽坂などの周辺地域と連携した街の活性化を実現できるものと考えています。</p> <p>そのためにも、飯田橋・神楽坂の周辺地域と一体となった位置づけが必要と考えています。</p> <p>以上の理由から、グランドデザイン P125 記載の「飯田橋・神楽坂」の記載箇所に「後楽」を追記するとともに、「歩行者ネットワークの強化」及び「業務商業の集積を進める地区」としての位置づけ・記載をお願い致します。</p>

番号	意見・アイデア
19	<p>後楽二丁目地区は、従前は印刷・製本のまちとして住・商・工が混在する老朽化した低層建物が密集している地区でしたが、地下鉄大江戸線の開通や周辺地域での急速な業務地化が進む中、平成6年に『後楽二丁目東地区第一種市街地再開発事業』として事業認可を受け、周辺の基盤整備や広場空間や緑化空間の創出とともに都市型機能を充実させた土地の高度利用を実現し、事務所と共同住宅、店舗による複合建物として平成12年5月に竣工しました。</p> <p>これにより、街の不燃化・耐震化に寄与し、安全な街となり、さらに平成22年には引き続き西地区の再開発事業が完了し、業務系用途の集積が進んだ地区となっております。後楽二丁目地区では、これまで文京区後楽二丁目全域のまちづくりについて地元文京区とともに一体的に検討を進めてきており、地区内では再開発事業の検討も進んでいます。後楽二丁目地区はJR及び地下鉄4路線が乗り入れる飯田橋駅と歩道橋で結ばれた駅隣接地区であり都内でも交通利便性の非常に高い地区となっております、25号線の開通により道路網としての整備も進み、土地ポテンシャルが高まっている地区です。</p> <p>竣工して15年が経過した今、ますます土地ポテンシャルを生かした業務商業の集積が求められる一方、いまだ街の課題である飯田橋方面からの歩行者ネットワークの強化が解決されていない状況にあります。</p> <p>今後は後楽二丁目地区だけでなく、飯田橋・神楽坂などの周辺地域と一体となったまちづくりを行っていくことが重要であり、それによって街全体としての魅力向上が実現できるものと考えています。</p> <p>以上の理由から、グランドデザインP125記載の「飯田橋・神楽坂」の記載箇所に「後楽」を追記するとともに、「歩行者ネットワークの強化」及び「業務商業の集積を進める地区」としての位置づけ・記載をお願い致します。</p>
20	<p>後楽二丁目地区はJR及び地下鉄4路線が乗り入れる飯田橋駅と歩道橋で結ばれた駅隣接地区であり都内でも交通利便性の非常に高い地区となっております。</p> <p>地区内の東西2地区においては、既に第一種市街地再開発事業が完了し、業務系用途の集積が進んだ地区となっております。</p> <p>現在は、他地区において文京区とともにまちづくりの検討を進めており、再開発事業の検討もあわせて行っております。</p> <p>こうした中、当該エリアでの再開発事業を行う際には歩道橋機能の強化をはかり、飯田橋駅との歩行者ネットワークを強化、バリアフリー化などの駅機能を改善させ、周辺市街地の利便性向上等に寄与したいと考えております。あわせて、業務商業機能の集積を進め地域の発展に貢献したいと考えております。</p> <p>以上の理由から、後楽二丁目地区は、グランドデザインP125記載の「飯田橋・神楽坂」の記載箇所に、後楽二丁目地区を併記するとともに、「歩行者ネットワークの強化」及び「業務商業の集積を進める地区」としての位置づけ・記載をお願いするものです。</p>

番号	意見・アイデア
21	<p>後楽二丁目地区は、狹隘道路に面した木造住宅が密集した地区であり、災害時に緊急車両が入れない区域が多々見受けられるなど、地区の不燃化、耐震化の推進が急務となっている地区です。</p> <p>また、地区周辺では都市計画道路 25 号線が開通し、後楽二丁目地区内の東地区・西地区の市街地再開発事業が完成するなど環境が様変わりしており、印刷・製本を中心としていた土地利用も土地ポテンシャルの向上から変化している状況です。</p> <p>このような地区の変化とともに、当地区では平成 13 年より地元権利者による街づくりの検討を進めてきており、また、文京区とともに後楽二丁目地区の街づくりについても検討を進め、整備方針などを定めてきております。</p> <p>今後、地区内の基盤整備を進めるため、土地の高度利用を含めたまちづくりを実現することを目指し、現在文京区とともに検討を進め、再開発事業の検討もあわせて行っております。</p> <p>こうした中、後楽二丁目地区全体において、すでに完成した地区や地区の玄関口となる地区とも機能の分担を行い、周辺市街地の利便性向上や地域の発展に貢献したいと考えています。</p> <p>このような経緯や業務商業の集積実績、現在の街づくりの進捗状況を鑑み、グランドデザイン P125 記載の「飯田橋・神楽坂」の記載箇所に「後楽」を追記するとともに、「歩行者ネットワークの強化」及び「業務商業の集積を進める地区」としての位置づけ・記載をお願い致します。</p>

番号	意見・アイデア
22	<p>後楽二丁目地区では、平成 15 年より街づくりの検討を進めてきており、地区の不燃化と土地の高度利用を実施し、周辺の基盤整備とともに業務商業の集積した開発計画を行うことを目指して検討を進めてきております。</p> <p>当地区は J R 及び地下鉄 4 路線が乗り入れる飯田橋駅と歩道橋で結ばれた駅隣接地区であり都内でも交通利便性の非常に高い地区となっております。</p> <p>すでに後楽二丁目地区では、東地区、西地区において第一種市街地再開発事業が完了し、業務系用途の集積が進んだ地区となっております。</p> <p>飯田橋駅に一番近接した当地区では、後楽二丁目地区の玄関口としての街に寄与する計画が望まれており、併せて地区の課題である飯田橋駅との歩行者ネットワークの強化や歩道橋のバリアフリー化など基盤整備が当地区の開発計画とともに期待されています。</p> <p>こうした中、当地区で再開発事業を行う際には歩道橋機能の強化をはかるとともに、あわせて、業務商業機能の集積を進め、周辺市街地の利便性向上や地域の発展に貢献したいと考えております。</p> <p>後楽二丁目地区の街づくりは、これまで文京区とともに検討を進めてきており、整備方針などを定めてきております。</p> <p>また、現在においても文京区とともにまちづくりの検討を進めており、再開発事業の検討もあわせて行っております。</p> <p>このような経緯や業務商業の集積実績、現在の街づくりの進捗状況を鑑み、グランドデザイン P125 記載の「飯田橋・神楽坂」の記載箇所に「後楽」を追記するとともに、「歩行者ネットワークの強化」及び「業務商業の集積を進める地区」としての位置づけ・記載をお願いいたします。</p>
23	<p>お茶の水・水道橋・神保町</p> <p>中核的な拠点については、官民が連携して開発や土地利用転換などを進めていく (P. 23) ことを踏まえ、中心的なエリアについてはそれを記載するべきと考えます。</p> <p>例：「官民が連携し、中心部に相応しい質の高い緑の空間づくりを推進します。また、それを維持するためのエリアマネジメント活動について支援します。」</p>
24	<p>お茶の水・水道橋・神保町</p> <p>何を指しているのか分かりにくいです。</p>

番号	意見・アイデア
25	<p>「勝どき・月島・晴海・豊洲・東雲」の記載について</p> <p>現在の「勝どき駅」、「豊洲駅」の混雑解消や都心でありながら水辺に近い臨海部の魅力を最大限引き出すためには、BRTや都心部と臨海部をつなぐ大規模広域交通機関の整備をはじめとする交通環境の改善が必須であると考えます。つきましては、以下の通り、記載を提案させていただきます。</p> <p>文案：都心部・臨海地域地下鉄、BRTの整備による都心ターミナルとのアクセス性向上や、舟運やスマートモビリティ、コミュニティサイクル等の多様な交通機関の結節機能強化によって、建物更新や土地利用転換が誘発され、外国人を含む多様な人々に対応した住宅、宿泊、商業、文化施設などが集積し、質の高い住環境と、水辺と調和した魅力のある拠点が形成されています。</p>
26	<p>下町風情をどうするか？</p> <p>月島の長屋の様に古くからの街は若い人にも人気だが、防災面では火災など非常に不安のある街である。p.14には「風情のある下町」という言葉が出て来るが、今後再開発でこれらの街は消えるし、残念ながら防災的な観点では無くさなければならない街である。観光的にはこれらの街は魅力となっているが、特徴の一つの盆栽を育てる高齢な方々も2040年にはかなり居なくなってしまうと思われる。</p> <p>下町をタワマンだけが並ぶ街にするのか？何らかの方法で中身は鉄筋で外観は昔の家そっくりな建物を観光用に作るのもありかと思う。ただし、忠実な再現が良いと思うが、羽田空港の江戸小路の様ないかにも観光客向けなものにするかどうかは月島の店舗達の主義に関わる問題だと思う。</p>
27	<p>中枢広域拠点域 東部（荒川以東）（130 ページ）の中に「中川の沿川」の項目を設け、以下の文章を記述していただきたい。</p> <p>「新小岩公園の高台化や沿川の街づくりの進展により、中川に顔を向けた市街地が形成されています。」</p>
28	<p>葛西臨海公園駅周辺 下線部分を修正・追加</p> <p>葛西臨海公園・海浜公園は、海辺の自然的景観を保全しつつ、水・緑と人がふれあえる公園空間づくりが進んでいます。とくに、西なぎさでは、半世紀ぶりに海水浴が復活するなど、多様な地域資源が活用され、魅力のある場となっています。</p>
29	<p>そのまちの歴史や個性を生かしたまちづくりを</p> <p>東京の各地で行われている再開発。私の働いている葛飾区立石でもそれが行われようとしています。まちの人々の心とは全くかけはなれた計画が進行していることを悲しく思っています。安全面、防災面から木造密集地を建て替えて災害に強いまちをつくることは大事ですが、その際にそのまちのこれまで積み重ねて来た歴史、風土、個性を大事にして頂きたいと思えます。</p>

番号	意見・アイデア
30	<p>どこのまちでも同じような高層マンション、駅前広場、公共施設の3点セット 東京の魅力が失われてしまいます。これからは外国人が多く来日したり、観光も東京の大きな産業の目玉になると思います。</p> <p>私なども外国に行ったときに観光したいと思うのは、その土地の人々の歴史や生活と触れあえる場所です。各国に魅力的なダウンタウンがあります。外国人がよく行く場所は現在の日本でいえば、築地、ゴールデン街などと京都だそうです。立石も呑んべ横丁や仲見世などほかにはない庶民的な場所が沢山あり、テレビなどでもよく紹介されて日本各地から若者たちが写真を撮りに来たりしています。千ペロ（千円でペロペロに酔える）が有名になって、居酒屋めぐりをする人々もいます。</p> <p>そういう立石の魅力を全部なくして、大きなビルや区役所が出来るのは東京にとっても大きなマイナスだと思います。</p>
31	<p>防災面というなら、消防自動車の通れる道を左右に50mぐらいの間隔でつくり、その間は路地のはしる昔ながらのまち</p> <p>小さな商店が沢山あるまちにして頂きたいと思います。これからは高齢者が増え、そういう人々が縁側でおしゃべりしたり、子どもたちが路地で遊べるようなまちが理想です。これから人口が増えるというのに、高層マンションが必要なのでしょうか？</p> <p>できることなら、今ある建物をリノベーションでその趣を生かしたまちづくりをお願いしたいのですが、木造ではダメということならコンクリートでつくっても外観は、昔ながらの店というようにはいかないのでしょうか？</p> <p>京成線の高架の工事が進んでいます。高架下を呑んべ街にすることは立石らしい風情を残して、多くの観光客を呼び込み結果的に地域の活性化につながり、東京の魅力をひとつ守ることになると思います。</p>
32	<p>都民ファースト 住民ファーストのまちづくりを</p> <p>立石で行われている再開発の計画は、行政が手続きをふんで行っていますが、まちづくり事務所があっても、地権者と業者が主体となった準備組合が計画をつくり、行政はその後押しをするという形になっています。</p> <p>地権者は自分の土地が適正な価格で補償されれば納得し、業者は目先の利益から高層マンションという形になるようですが、立石の未来にとってそれが本当にいいことなのか。立石に住む人、働く人、訪れる人のまちへの愛着がいかされないまま手続きが進行しているのが現状です。計画図の縦覧、意見書の提出、審議会での審議を経て決定されれば、住民の声も聞いたということになるのでしょうか、ほとんどの住民はそういうことが進行していることさえ知りません。</p> <p>広報にちいさく告示され、区役所の受付に行ってもどこで縦覧が行われているのか案内の人も知らないのが現状です。行政がちゃんとイニシアチブをとって立石に住む人、働く人、訪れる人の意見を聞く場を設け、立石の未来像を住民ファーストで合意点を見つけつつ進めて欲しいものだと思います。</p>

番号	意見・アイデア
33	<p>三軒茶屋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背景 : テンプル大学（インターナショナルスクール）の移転、羽田への近接性（首都高速、中央環状）、渋谷からの近接性、駅周辺の大規模再開発の動き、駅・道路の混雑改善、防災能力強化の必要性</li> <li>・キーワード : 国際的な拠点、業務集積、クリエイターの集積、街区再編、交通結節点の強化、木造密集市街地の解消、公営住宅等の大規模な公有地の活用</li> </ul>
34	<p>「駒沢公園周辺」を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背景 : 公園活用の流れ</li> <li>・キーワード : PPPによる公園活用、スポーツパーク</li> </ul> <p>「世田谷線沿線」を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背景 : リノベーションの動き</li> <li>・キーワード : ヒューマンスケールな地域を活かして、リノベーションを活用したまちづくり</li> </ul> <p>「洗足池」を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背景 : 水辺空間の活用の流れ、駅周辺の整備の動き</li> <li>・キーワード : 水辺空間を活用、文化、歴史を活かした観光、住環境</li> </ul> <p>「大井町」に追加</p> <p>キーワードとして住居ゾーンの追加</p>
35	<p>「下丸子」を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背景 : 駅周辺の遊休地の開発の可能性、新空港線他、電気機器製造本社</li> <li>・キーワード : 国際的な企業集積、ものづくり、住環境、多摩川を生かしたまちづくり</li> <li>・文案 : 新空港線整備に伴い羽田空港へのアクセス性が強化され、駅周辺を中心に住む、働くといった機能集積が進むとともに、多摩川沿いの水辺空間では、スポーツやレクリエーションなどの交流と魅力の発信が進み、国内外・多様な世代が新しいライフスタイルを築いている市街地が形成されている。</li> </ul>
36	<p>蒲田</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背景 : 新空港線整備、羽田空港との近接性、ものづくり等の強みを生かした国際競争力、高度利用等による駅中心の拠点形成の可能性</li> <li>・キーワード : 空港へのアクセス性の強化、高度利用による業務等の集積、駅を中心とした集約拠点の形成、国際競争力強化に資する新しい拠点形成、</li> <li>・文案 : 羽田空港の機能強化などに合わせ、空港アクセス性への強化、駅前広場等の交通結節機能の強化、土地の有効活用や高度利用による業務・商業施設の集積など駅を中心とした集約した拠点形成が進み、利便性が高く、国内外の来街者でにぎわう国際競争力強化に資する新しい拠点が形成されています。</li> </ul>